

グラディウス仕上げ 施工の手引き

適用品番

ジョリパットインフィニティー JQ-500シリーズ

【初版】平成24年 4月

アイカ工業株式会社
化成品カンパニー

< 使用材料 >

材料	商品名	概要	荷姿	標準施工面積
シーラー	ジョリパットシーラー JS-410	1液溶剤系 アクリコ [®] ム系シーラー	15kg/缶	約75~100 m ²
	セーフシーラー JS-800	1液水系 [®] ワックス	16kg/缶	約80~106 m ²
主材	ジョリパットインフィニティ シリーズ 標準色 JQ-500T (...数字) 特注色 JQ-500 (...英字、 ...数字)	アクリル共重合樹脂 水性仕上げ塗材	20kg/ 缶	約8 m ²
骨材	JF-1	寒水石(白竜) 1厘	20kg/袋入り	約13 m ²

セーフシーラー JS-800 は2kg×2個セットもございます。使用する面積によってはこちらをご使用いただくことを推奨致します。(施工面積目安：約20~25 m²/セット)

使用する下地に適合したシーラーをご使用下さい。詳しくは各シーラーの説明書または最寄のアイカ工業(株)各支店にお問い合わせ下さい。

< 主な施工道具 >

- ・ 剣先ゴテ(ステンレス製)

< 下地調整 >

モルタル金ゴテ押さえ(平滑)など

<グラディウス仕上げ施工方法>

1. シーラー塗布

・JS-410の場合

配 合	J S - 4 1 0	1 5 k g
塗 布 量	0 . 1 5 ~ 0 . 2 k g / m ²	
施 工 方 法	ローラー刷毛又はスプレーガン	

・JS-800の場合

配 合	J S - 8 0 0	1 6 k g
塗 布 量	0 . 1 5 ~ 0 . 2 k g / m ²	
施 工 方 法	ローラー刷毛又はスプレーガン	

下地、主材に応じた最適なシーラーを選定して下さい。
3時間以上48時間以内

2. 主材 下塗り

・JQ-500シリーズを無希釈で0.9kg/m²となるよう
金ゴテ(ステンレス製)にて平滑に塗布してください。

夏期 4時間以上
冬期 12時間以上
乾燥を確認後、次工程に移って下さい。

3. 主材 上塗り

配 合	J Q - 5 0 0 シ リ ー ズ	2 0 k g
	寒水石 1 厘	2 0 k g
	清 水	2.0 割
塗 布 量	約 3 . 0 k g / m ²	
施 工 道 具	剣先ゴテ(ステンレス製)	

追いかけて(5分以内)

4. パターン付け

・剣先ゴテの先を壁面に押し付けながらコテを横にして
引きずりパターンを付けてください。
その際あまり強く押し付けないようにしてください。
(図-1、2)

< 施工のポイント >

- ・ジョイント部分が目立たないように、千鳥状に模様付けしてください。1つの模様は30cm程度にしてください。(図-1)
- ・剣先部分を壁面に付けるようにして柄を持ち、進行方向に寝かせて(柄を壁面に近づけて)施工してください。(図-2)

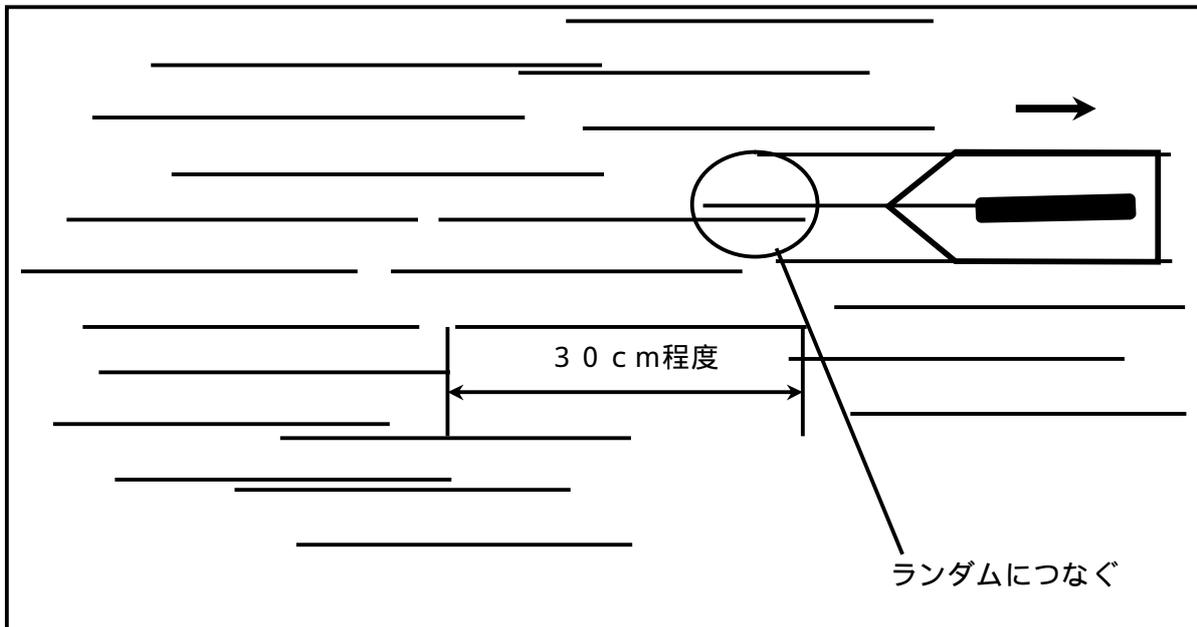


図 - 1

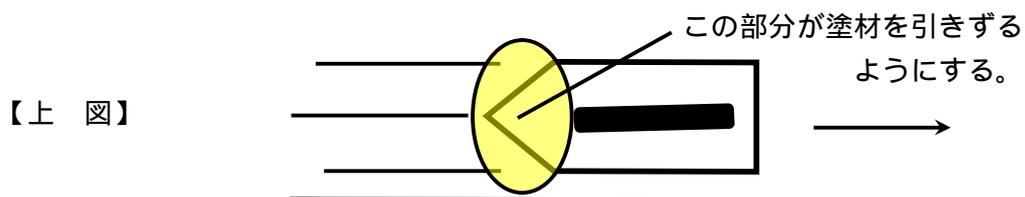


図 - 2

< 施工の注意事項 >

- ・ コテはステンレス製のものを使用し、施工してください。
鉄製の金ゴテを使用した場合、鉄錆の転写、削れた鉄粉の転写で塗膜が変色して見える(グレー色)恐れがあります。
- ・ 施工前に必ずコンパネ等で試し塗りを行い、仕上がり、乾燥性を確認して下さい。
- ・ 配合を遵守して下さい。寒水石の量が多いと伸び物性が低下し、また水希釈量が多いとダレ等が発生することがあります。
- ・ 寒水石のかわりに珪砂等を使用しますと、仕上がり時の色が見本板と変わります。珪砂は使用しないで下さい。
- ・ 乾燥が比較的速いため、塗り継ぎ時間に注意して下さい。
(特に外装の大面積を施工する場合は、作業人工や化粧目地による分割を検討して下さい。)
- ・ 配り塗り後、速やかにパターン付けを行って下さい。表面が乾燥してしまうとパターン付けが出来なくなります。
- ・ 同一面は連続して施工して下さい。気温・湿度・風等により、色調が異なることがあります。)
- ・ パターンを付ける際、ラインが蛇行したり斜めに下がったりしないよう注意して下さい。
- ・ 塗板見本及び現場施工時のパターンの状態を、施主等の責任者の承認をいただいた上で施工を進めてください。
- ・ 気温 5 以下、湿度 80%以上、降雨、結露、強風などの条件下での施工は、硬化不良、ひび割れ、ふくれなどの不具合が発生する可能性があります。
- ・ シーラー、ジョリパット施工の際は臭気トラブルを防ぐ為、事前に近隣への案内等にご配慮下さい。
- ・ シーラー、溶剤、洗浄剤(灯油など)で有機溶剤が含まれる場合は特に、防毒マスクを着用してください。また、必要に応じて保護眼鏡や保護手袋を着用してください。
- ・ 施工器具(コテ、ローラー、吹き付けガン)などの洗浄水の、河川や側溝への廃棄は避けてください。
- ・ 商品ならびに施工に関するお問い合わせは最寄の当社支店までお願い致します。

以 上